

西田春彦



英訳普話

瓜子姫

英訳昔話

「瓜子姫」

絵・文・訳：茜町春彦

原作：柳田国男

概要：絵本です。

原作は日本の昔話（新潮文庫）の中の1話です。

英訳しております。日本語文は、ほぼ原作通り収録しました。

A Japanese folk tale

Title: "Princess Melon"

Illustrated, translated and written by: Akanemachi Haruhiko.

Original author: Yanagida Kunio



Once upon a time, there lived an Old Man and an Old Woman.

昔むかし、爺と婆とがありました。



The Old Man usually went to a hill to collect firewood.

爺は山に行って薪を伐り・・・



The Old Woman usually went to a river to wash clothes.

・・・婆は川に行って洗濯をしました。



One day, as usual, the Old Woman went to the river.

A melon flowed down from the upper stream.

或る日いつものように婆が川へ行くと、川上の方から、瓜がひとつ流れて来ました。



The Old Woman picked up the melon and came back to home.

それを拾って来て・・・



The Old Woman and the Old Man cut the melon into two halves.

・・・爺と二人で割って見ると・・・



Then, a tiny pretty baby girl was born from it.

They named her "Princess Melon" because she was born from the melon.

They fostered and loved her.

・・・その中から、まことに小さな美しい女の子が生まれました。瓜の中から生まれたので、瓜子姫と名を付けて可愛がって育てました。



She grew up bigger and bigger and became a good pretty girl.

And she wove on a loom every day.

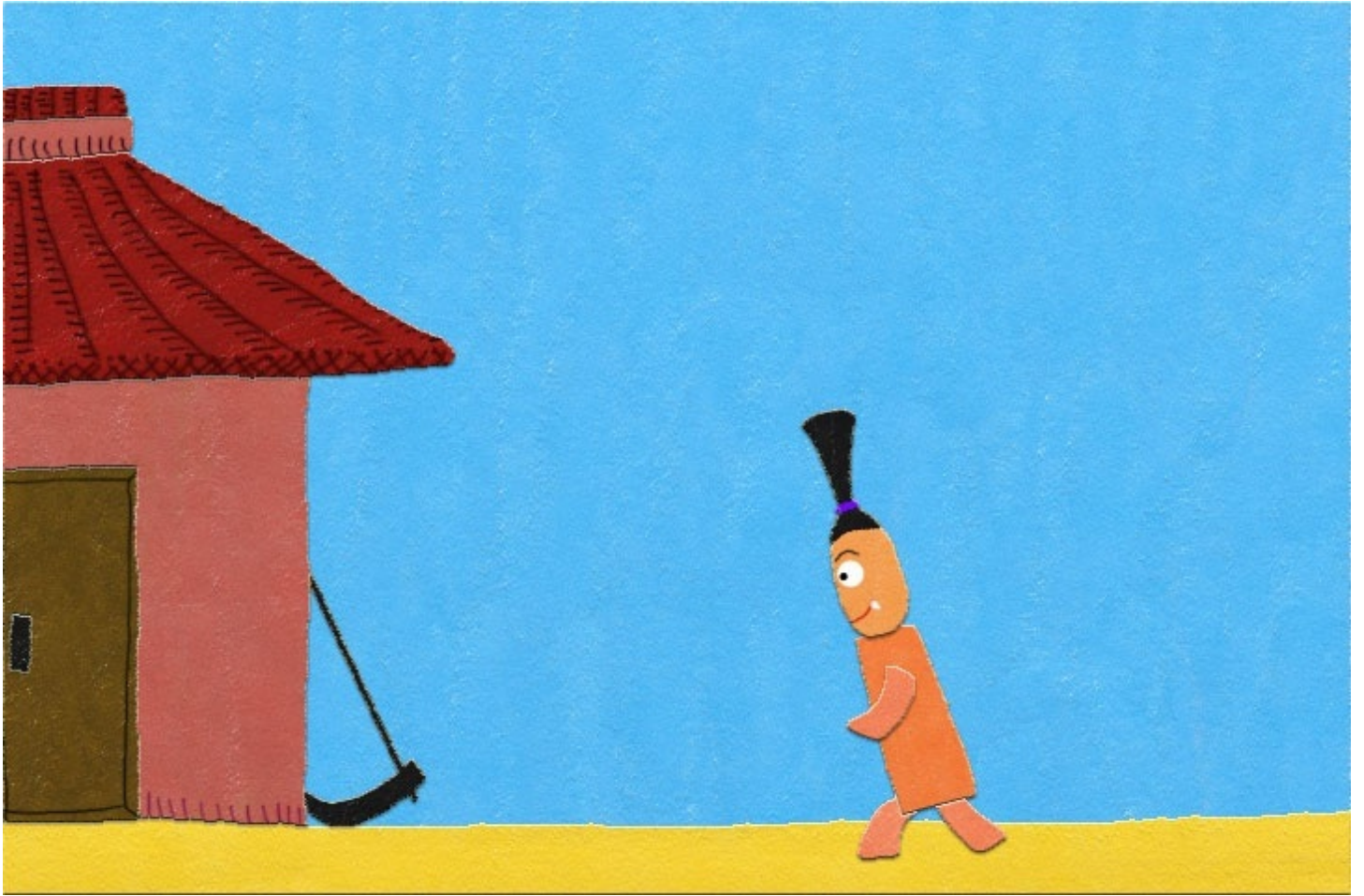
だんだんに大きくなって、のちには好い娘になって、毎日まいにち、機を織りました。



The Old Man and the Old Woman planned to go to the annual carnival at the village's shrine together with Princess Melon.

And so, they went to a town for hiring a palanquin.

今年の鎮守様の御祭りには、瓜子を御参りに連れて行こうと思って、爺と婆とは御駕籠を買いに、二人で町へ出かけました。



During their absence, Princess Melon shut the door tightly and was weaving in the house.

Then, a Goblin came and asked in a disguised voice.

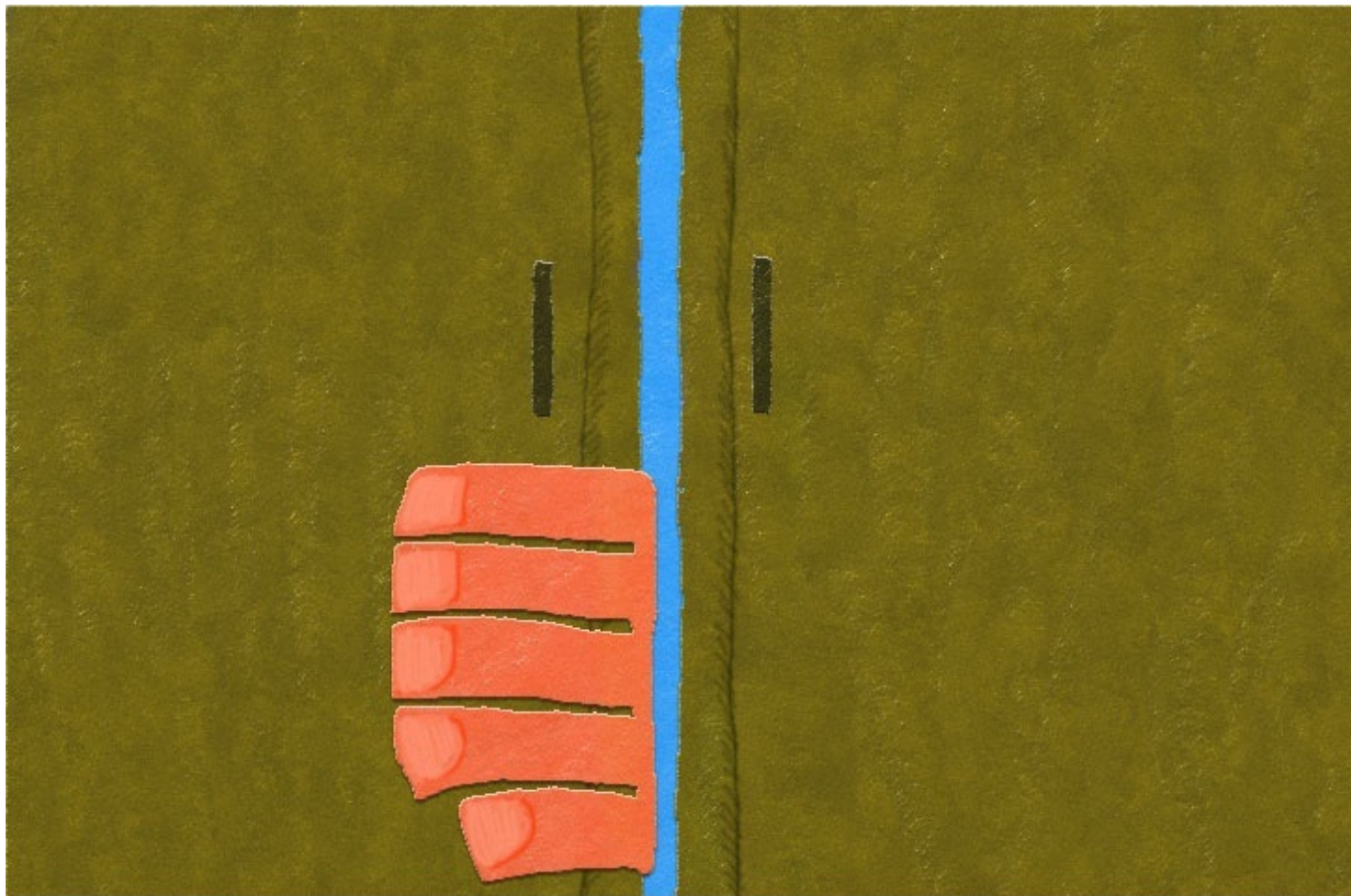
"Please open this door a little bit!"

留守にはピッタリと戸を閉めて、中で瓜子姫がハタを織っていますと、天邪鬼がやって来て作り声をして、この戸を少しだけ開けてくれと言いました。



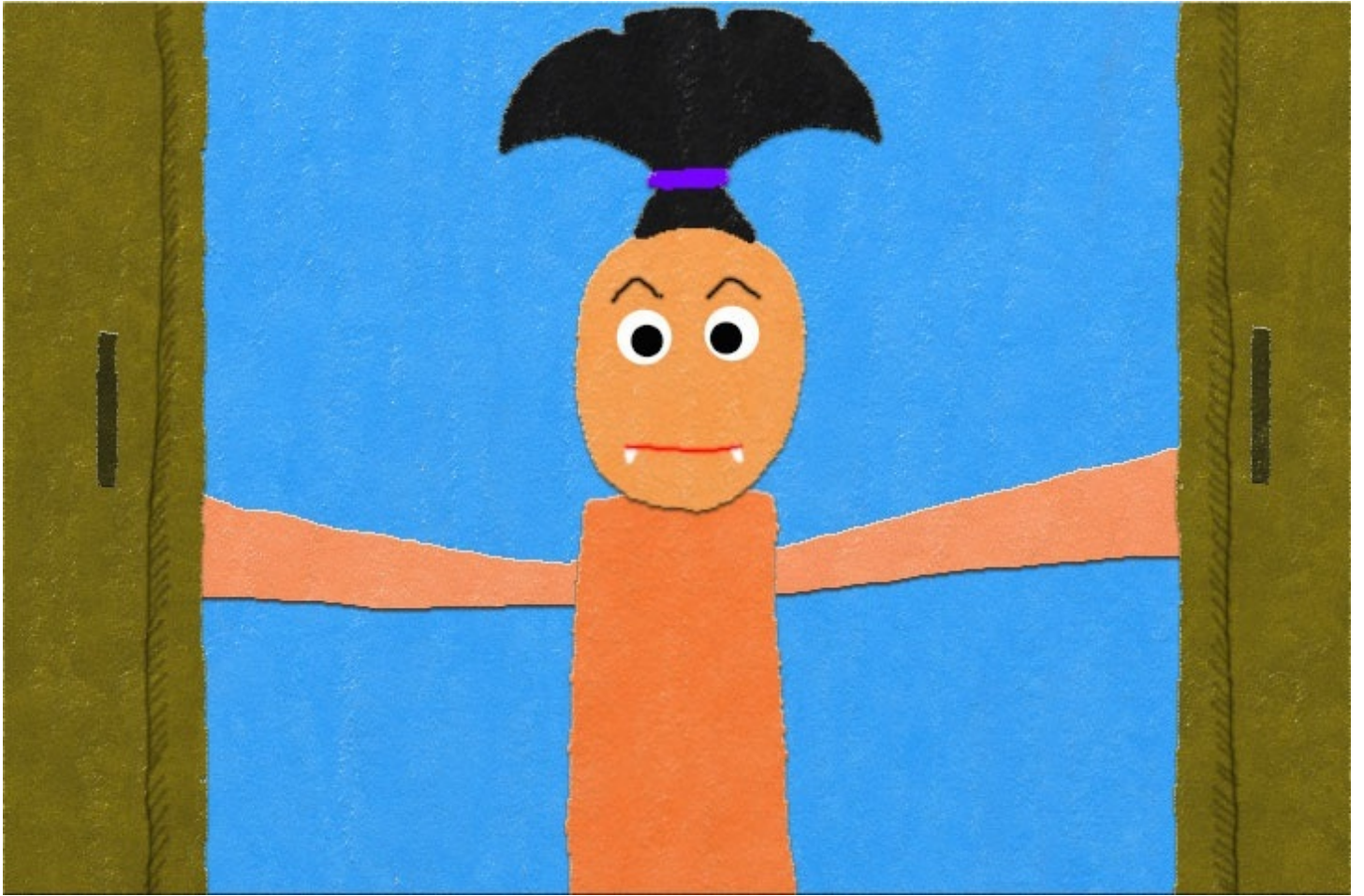
Carelessly, Princess Melon slightly opened the door.

瓜子は、ついウツカリと戸を細目に開けてやると・・・



The Goblin thrust his fearful hand in.

・・・それから恐ろしい手を入れて・・・



The Goblin fully opened the door.

He said "Well, Melon! I will take a persimmon fruit of the backyard for you."

And he went to the backyard with her.

・・・あまのじゃくが戸をガラリと開けました。裏の柿の実を取ってあげましょう瓜子さんと言
って、瓜子を裏の畑へ連れて出て・・・



And the Goblin stripped her naked and bound her to a persimmon tree.

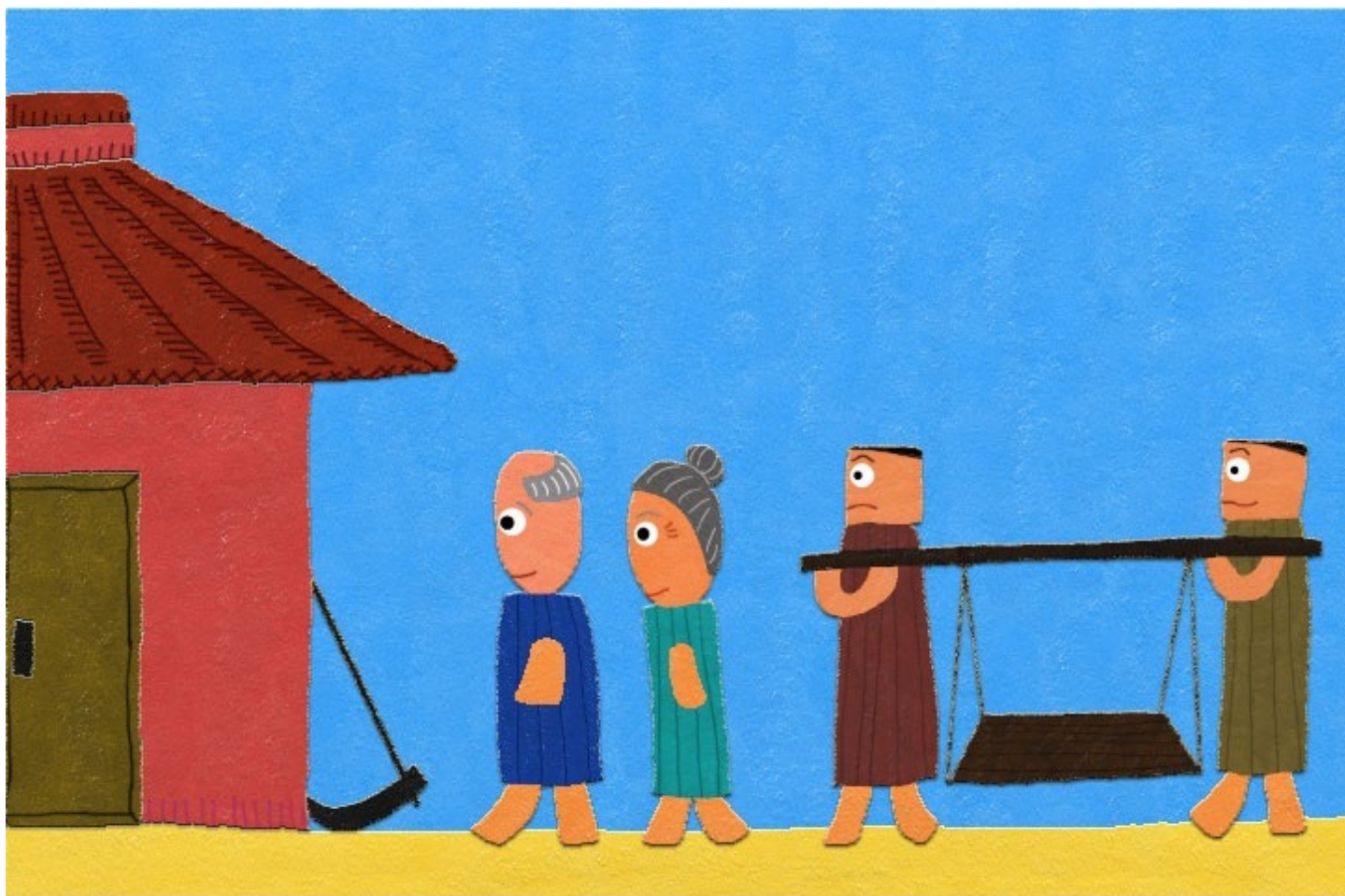
・・・裸にして柿の木へ縛りつけました。



The Goblin disguised himself by wearing Melon's dress.

And he was calmly weaving.

そうして天邪鬼が瓜子の着物を着て、化けて知らぬ顔をして、機を織っています。



Then, the Old Man and the Old Woman came back from the town with a hired palanquin.

そこへ爺と婆とは駕籠を買って、町から帰って来ました。



They said "Well, now! Princess Melon! Please get on this palanquin!"

さあさあ、瓜子姫、おカゴを召せと言って・・・



They had the Goblin riding on the palanquin and started for the shrine.

And then, the true Princess Melon shouted behind the persimmon tree of the backyard.

"Why don't you take me? Oh, oh! The Goblin is riding on the palanquin. Oh, oh!"

・・・天邪鬼を駕籠に乗せて鎮守様へ参ろうとしていると、裏の柿の木の陰から本当の瓜子姫が、瓜子を乗せないでようよう、アマノジャクばかりカゴに乗せてようようと、大きな声で泣きました。



The Old Man and the Old Woman were surprised at the voice and returned back.

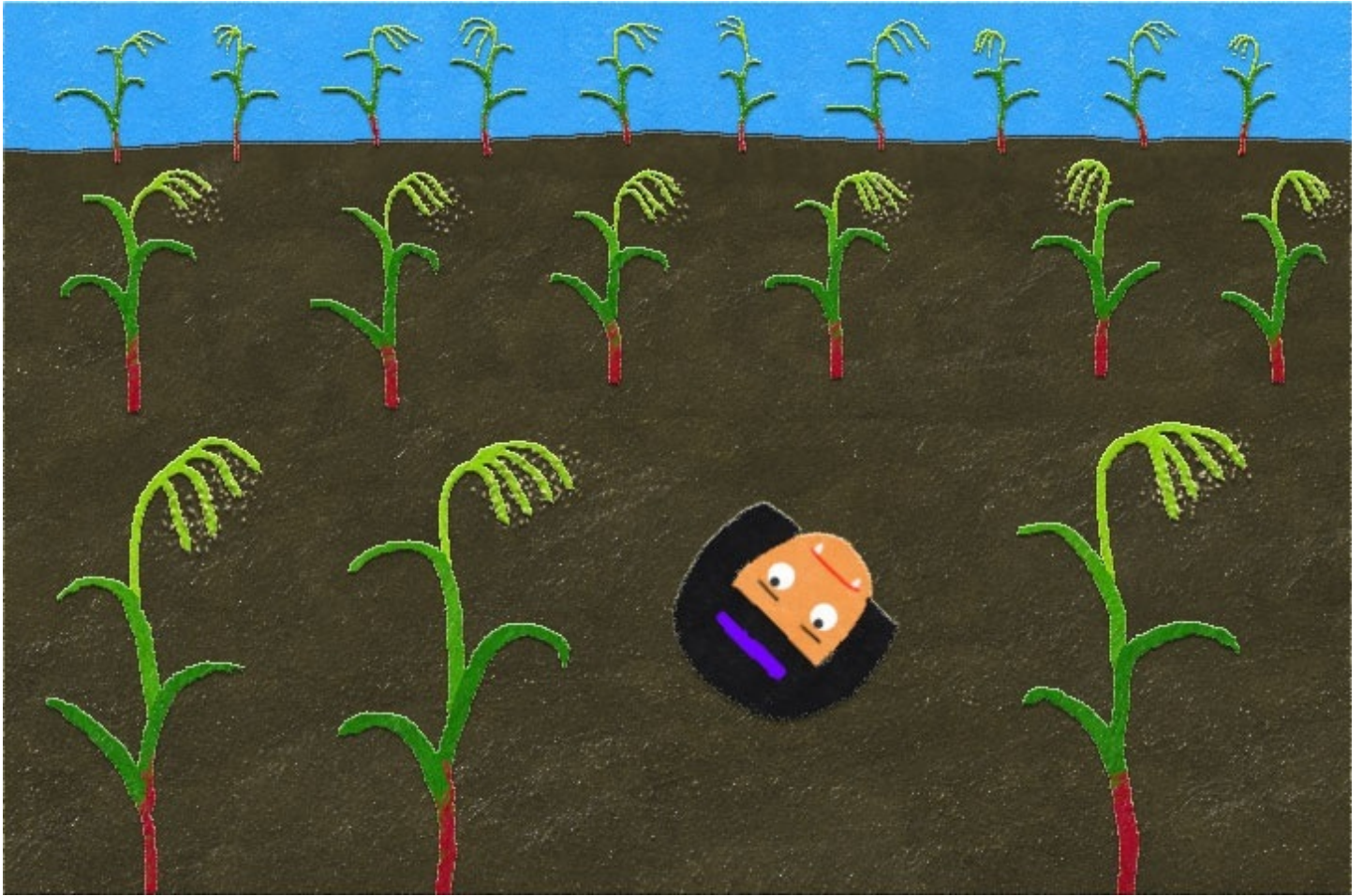
And, the Old Man swung a scythe up.

爺と婆とはその声を聞いて、ビックリして引き返して来て、それから爺は鎌を振り上げて・・・



He cut the Goblin's head off.

・・・天邪鬼の首を切って・・・



And, he discarded it into a millet field.

People say that the stems of millets turn red at autumn because they were stained with the blood of the Goblin.

(Izumo province)

・・・黍の畑に捨ててしまいました。

キビの茎が秋赤くなるのは、その天邪鬼の血が染まったからだそうです。

(出雲)

後書き

改訂3版について：

英訳文を修正しました。

日本の昔話：

著者は柳田国男（1962年没）です。柳田国男氏自身が述べているように『日本の昔話』は全国から集めた話なので、創作性の観点から著作権は元々発生していないと思いますが、仮に著作権が発生していたとしても柳田国男氏の没後50年を経過していますので既に消滅しています。（著作権：消滅）

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 日本の昔話：平成17年10月25日36刷 柳田国男著 新潮文庫
- ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2色刷り:1994年4月1日改訂版初版発行 株式会社大修館書店
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- 実例英文法〈第4版〉：昭和63年6月第1刷発行 AJ.トムソン・AV.マーティネット共著 江川泰一郎訳 オックスフォード大学出版局
- Longman Dictionary of American English:First printing 1983 Longman Inc.

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。

作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2014年9月7日発行

2014年9月11日改訂

2018年6月10日改訂2版

2018年6月11日改訂3版

英訳昔話「瓜子姫」

<http://p.booklog.jp/book/89641>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/89641>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/89641>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ